

# 令和 5 年度 社会福祉法人西都市社会福祉協議会 事業報告

## I 事業の概況

西都市では、高齢化率が 39.02%（令和 6 年 4 月 1 日現在 前年 4 月 38.50%）となり、少子高齢化の中で単身世帯の増加や人間関係の希薄化、雇用のあり方の変化など地域社会の変容により、既存の制度では対応の難しい複雑・多様化した生活・福祉課題が増加しています。

本会においては、財政的には厳しい状況の中、地域福祉を推進する中核的な団体として行政や各関係機関・各種団体及び住民組織等の支援や協力を得ながら、事業計画で掲げた「地域社会との連携強化」「権利擁護と説明責任」「コンプライアンスと組織強化」「財政健全化計画に基づいた財務基盤の確立」の 4 つの重点事項に基づき、事業を展開してきました。

各事業の実施にあたっては、コンプライアンス基本方針に則り、職員教育に努め、事業経営の効率化・健全化の向上に視点を置いて取り組んでまいりました。しかし、介護保険事業では、安定経営を目指し、行政とも連携しながら体制づくりに努めてきましたが、経営的な観点や職員確保が困難な状況により、指定居宅介護支援事業所が 5 年度末をもって休止することになりました。

経営に関しては、経営改善計画に沿って、各種事業や財政面の改善など、今後の方向性を確認しながら取り組みをすすめました。今後も経営改善計画を意識しながら、西都市とも協議を重ね地域福祉計画・地域福祉活動計画に沿った事業を展開していきます。

事業運営においては、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが「第 5 類感染症」になり、各関係機関・団体等との連携のもと、感染状況を見ながら、様々な事業活動に努めました。

以下、その実施内容について報告します。

## II 社協概要

名 称	社会福祉法人西都市社会福祉協議会
設立年月日	昭和 43 年 3 月 12 日
役 員	【理 事】9 名（内会長 1 名、副会長 1 名） 【監 事】2 名 【評議員】14 名
事務局組織	31 頁参照

## III 具体的実施事項

### 1 法人運営管理（総務課 総務係）

適切な法人運営や事業経営を行うとともに、各部門間の調整を行い、社協全体の管理業務を行うため、以下の事業を実施した。

## (1) 理事会・評議員会等の運営

事業執行と管理・監督のチェック機能を高めるとともに、理事会は執行機関として、評議員会は議決機関として、双方の役割機能を発揮できるよう円滑かつ効率的に本会運営を推進してきました。

また、本会のより健全な経営及び運営を図るため、監事の指導及び監査により会務の適正な執行に努めました。

### ア 理事会の開催

#### 第1回 令和5年6月14日(水)

① 出席者 理事8名 監事2名 欠席者 理事1名

② 会場 西都市地域福祉センター

#### ③ 議事

議案第1号 令和4年度事業報告について

議案第2号 令和4年度収支決算について

議案第3号 令和5年度収支予算補正について

議案第4号 運営規程の一部改正について

議案第5号 職員給与規程の一部改正について

議案第6号 嘱託職員給与規程の一部改正について

議案第7号 評議員選任・解任委員の選任について

議案第8号 評議員候補者の推薦について

議案第9号 評議員選任・解任委員会の招集について

議案第10号 次期役員候補者の推薦について

議案第11号 評議員会の招集について

#### 第2回 令和5年6月29日(木)

① 出席者 理事6名 監事2名 欠席者 理事3名

② 会場 西都市老人福祉センター

#### ③ 議事

議案第1号 会長及び副会長の選定について

議案第2号 福祉サービスに関する苦情解決第三者委員の選任について

#### 第3回 令和5年9月28日(木)

① 出席者 理事7名 監事2名 欠席者 理事2名

② 会場 西都市地域福祉センター

#### ③ 議事

議案第1号 臨時職員給与規程の一部改正について

議案第2号 パートタイム職員給与規程の一部改正について

議案第3号 非常勤職員給与規程の一部改正について

議案第4号 評議員会の招集について

#### 第4回 令和6年2月5日(月)

① 出席者 理事9名 監事1名 欠席者 監事1名

② 会場 西都市地域福祉センター

③ 協議

指定居宅介護支援事業所の運営について

#### 第5回 令和6年3月18日(月)

① 出席者 理事8名 監事2名 欠席者 理事1名

② 会場 西都市地域福祉センター

③ 議事

議案第1号 指定居宅介護支援事業の休止について

議案第2号 事務局組織規程の一部改正について

議案第3号 職員給与規程の一部改正について

議案第4号 嘱託職員給与規程の一部改正について

議案第5号 令和6年度事業計画(案)について

議案第6号 令和6年度資金収支予算(案)について

議案第7号 役員等賠償保険の加入について

議案第8号 評議員会の招集について

#### イ 評議員会の開催

##### 定時評議員会 令和5年6月29日(木)

① 出席者 評議員13名 監事2名 欠席者 評議員1名

② 会場 西都市地域福祉センター

③ 議事

議案第1号 令和4年度事業報告について

議案第2号 令和4年度収支決算について

議案第3号 令和5年度収支予算補正について

議案第4号 次期役員の選任について

##### 第1回 令和5年10月11日(月)

① 出席者 評議員10名 監事2名 欠席者 評議員4名

② 会場 西都市地域福祉センター

③ 議事

議案第1号 臨時職員給与規程の一部改正について

議案第2号 パートタイム職員給与規程の一部改正について

議案第3号 非常勤職員給与規程の一部改正について

##### 第2回 令和6年2月14日(水)

① 出席者 評議員13名 監事2名 欠席者 評議員1名

② 会 場 西都市地域福祉センター

③ 協 議

指定居宅介護支援事業所の運営について

### 第3回 令和6年3月27日（水）

① 出席者 評議員 11名 監事 1名 欠席者 評議員 3名 監事 1名

② 会 場 西都市地域福祉センター

③ 議 事

議案第1号 事務局組織規程の一部改正について

議案第2号 令和6年度事業計画（案）について

議案第3号 令和6年度資金収支予算（案）について

### ウ 評議員選任・解任委員会の開催

#### 第1回 令和5年6月26日（月）

① 出席者 4名

② 会 場 西都市地域福祉センター

③ 議 事

議案第1号 評議員の選任について

### エ 監査の実施

#### （ア）決算監査

① 期 日 令和5年5月30日（火）

② 会 場 西都市地域福祉センター

③ 出席者 監事 2名

④ 内 容 1 令和4年度業務執行状況

2 令和4年度収支決算状況

※6月14日の理事会及び6月29日の定時評議員会にて監査結果報告

### オ 経理事務の外部（税理士事務所）指導の実施

税理士法人アイビーパートナーズの税理士より、2か月に1回（4月・6月・9月・10月・12月・2月）の指導を受け実施。

### カ 定例課長会議／定例事務局会議（事務局長・次長・課長・係長）

各係における事業の進捗状況や課・係を横断した内部連携の強化を図るとともに、事務局の意思統一及び決定の場として開催。

#### （2）西都市社会福祉大会

福祉関係者並びに幅広い世代の住民が一堂に集い、人と人がつながり、支えあえる社会の実現について考える機会とするとともに、あわせて、多年にわたり、社会福祉の発展に功勞の

あった方々を顕彰し感謝と敬意を表することを目的に開催した。

- ① 開催日 令和6年2月10日(土)
- ② 会場 西都市民会館
- ③ 来場者 約340名
- ④ 内容
  - ・式典 社会福祉協議会の顕彰者・団体
    - (ア) ボランティア活動等により10年以上継続して活動している個人又は団体  
個人：1名 団体：4団体
    - (イ) 地域福祉活動に10年以上継続して従事している個人又は団体  
個人：1名 団体：6団体
    - (ウ) 特別功労者 個人：2名 団体：1団体
  - ・記念講演
    - 講師 アルケミスト 「アルケミスト人権コンサート in 西都」
  - ・情報支援 西都手話サークル ひまわり



(3) 施設（総合福祉センター）の指定管理者としての管理運営

総合福祉センター（老人福祉センター及び地域福祉センター）については、指定管理者として、市民からの相談に対応するとともに、市民の福祉活動や各種団体等の研修活動等適切な管理運営に努めた。

(4) 車両の管理・運行及び交通法令遵守の徹底

公用車の保管及び整備と職員の更なる交通安全意識の高揚を図るとともに、福祉バス（中型バス・マイクロバス）を活用した団体等への積極的な支援に努めた。

利用団体名等	中型バス		マイクロバス	
	回数	人数	回数	人数
高齢者クラブ連合会	7	153	2	31
障がい者団体	1	16	2	42
市役所関係	6	820	1	16
保育所関係	20	570	7	119
学校関係	13	376	1	10
民生委員児童委員協議会	2	26	1	13
ボランティア連絡協議会	4	73	1	13
区福祉推進会（サロン事業含む）	40	758	22	284
みんなのデイサービス事業等	7	159	90	1,172
合計	100	2,951	127	1,700
年間走行距離	12,484Km		9,099Km	

(5) 職員の人材育成・研修事業等

ア 職員研修の実施

職員の法令遵守（コンプライアンス）意識の徹底、能力開発及び資質の向上等を図るため、職場内研修を行った。

- ① 期 日 令和6年2月21日（水）
- ② 会 場 西都市地域福祉センター
- ③ 内 容 コンプライアンス研修

講師 八光宣和社労士事務所 特定社会保険労務士 八光宣和 氏

イ 人事評価（能力評価）の本格実施

課長職以上の職員に対して令和元年度より試行期間として実施してきたが、事業計画並びに経営改善計画に従い令和5年度より係長職以上の職員を対象に、人事評価実施要綱に基づき令和5年11月1日を基準日として令和5年10月1日より施行し、令和5年度の人事評価から適用することとした。この評価を、今後の地域福祉を推進する公益法人の職員として、専門性に加え高い倫理観、使命感が求められているということを常に意識した人材育成、能力向上に努めていきたい。

(6) 広報・啓発活動

広報担当者と各部門職員が連携して、毎号多様な角度から社協事業の啓発に努め、福祉に対する市民の理解と関心を高めるとともに市民の福祉活動への積極的な参加を促す広報・啓発活動に取り組んだ。

発行日		主な掲載内容
6月15日発行 「Vol.106」		西都市災害ボランティアセンター運営訓練実施報告／みんなのデイサービス事業紹介／オレンジカフェ紹介／民生委員児童委員活動紹介／西都市成年後見支援センター事業紹介／令和5年度事業計画・予算報告／社協会費のお願い／寄附者報告
10月15日発行 「Vol.107」		ふれあい・いきいきサロン活動紹介／ボランティア団体紹介／災害ボランティアセンター職員派遣レポート／西都市フードバンク事業寄附報告／高齢者クラブ活動報告／令和4年度事業報告・決算報告／赤い羽根共同募金案内／寄附者報告
3月15日発行 「Vol.108」		西都市社会福祉大会報告／赤い羽根共同募金お礼／ふれあい・いきいきサロン活動報告／ボランティア団体紹介／包括支援センター活動報告／民生委児童委員活動紹介／無料法律相談案内／ボランティア活動保険案内／寄附者報告

## (7) 財政基盤の確立

### ア 収入の確保

地域福祉の推進を図るため、社協の構成員（会員）である市民に社協活動への理解及び参画を呼び掛け、会費納入の協力依頼を行うとともに、香典返しをはじめとする特別寄附金（篤志寄附）などを受け付けた。

また、宮崎県共同募金会西都市共同募金委員会との連動による募金運動の推進を行った。その他の財源収入（補助金・助成金・介護保険事業収入等）状況は、別添決算書のとおりです。

なお、人口減少やコミュニティ意識の希薄化（自治会組織からの退会等）により、収入の減少が予測されるため、継続して対策も検討が必要な状況となっている。

#### ① 会費

種 別	金 額
個人会費（各世帯等）	2,851,700 円
特別会費（福祉施設・団体・機関等）	0 円
賛助会費（会社・事業者等）	0 円
合 計	2,851,700 円

#### ② 特別寄附（香典返し）

内 訳	金 額
寄附件数	143 件
寄附金額	2,185,000 円

#### ③ 一般寄附（一般寄附金）

内 訳	金 額
寄附件数	4 件
寄附金額	140,850 円

#### ④ 共同募金

種 別	金 額
一般募金	4,063,700 円
歳末たすけあい募金	611,630 円
合 計	4,675,330 円

## 2 地域福祉活動推進事業（総務課 地域福祉係）

地域共生社会の実現に向け、地域住民や様々な団体に対し、安心して、自分らしくいきいきと暮らし続けるために社会福祉制度や地域福祉活動への関心と理解をすすめ、地域課題や生活課題を解決するための実践力を身につけてもらうことを目的に、以下の事業を実施した。

### (1) 小地域ネットワーク事業

福祉推進会長の推薦により、概ね 30 世帯に 1 人の割合で委嘱する福祉協力委員が一体となって、支援が必要な地域住民の早期発見・見守り・支援活動を行なう事業で、組織的かつ生活圏域に合わせて事業展開を図るため、行政区ごとに福祉推進会を組織し、「地域の福祉力強化推進事業」や「ふれあい・いきいきサロン事業」に取り組めるよう支援を行った。

なお、小地域ネットワーク事業に関して、出前講座を行うなど住民組織や関係者とともに意見交換を行った。

#### ア 区福祉推進会設置状況

地区名	設置数	実施数
妻	30 か所設置	18 か所設置
穂北	14 か所設置	7 か所設置
三納	7 か所設置	7 か所設置
都於郡	8 か所設置	4 か所設置
三財	8 か所設置	7 か所設置
東米良	1 か所設置	0 か所設置
合計	68 か所設置	43 か所設置

#### イ 福祉協力委員委嘱状況

地区名	人数
妻	176 名
穂北	73 名
三納	67 名
都於郡	62 名
三財	70 名
東米良	0 名
合計	448 名

#### ウ 地域の福祉力強化推進事業実施状況

実施プログラム名	実施推進回数	実施回数
福祉強化力推進事業（交流事業や社会参加促進、また新型コロナウイルス感染症対策による見守り訪問活動等）	43 か所	167 回
支援が必要な地域住民宅への訪問・声掛け活動	34 か所	684 回
地域の生活課題等を専門機関につなげる活動	23 か所	85 回
公民館活動（敬老会等）への支援活動	27 か所	83 回
健康づくり活動（百歳体操等）の実施	24 か所	878 回
委員会（会議）の開催	36 か所	145 回
自己財源確保事業	33 か所	

#### エ ふれあい・いきいきサロン事業実施状況



区や公民館エリア等、地域住民の身近な生活圏域において、福祉推進会役員（区長・民生委員児童委員・福祉協力委員）と地域住民が協働で企画・運営を行い、地域住民の仲間づくり、健康づくり、生きがいを目的として実施した。

本年度は 35 か所の福祉推進会等（41 か所の拠点）が、気軽に・無理なく・楽しく・自由な発想のもと活動が推進できるよう支援を行った。

（ア）事業実績

区 分	数 値
実施福祉推進会等数	41 か所／35 拠点
実 施 延 べ 回 数	454 回
参 加 延 べ 人 数	6,042 名

（イ）拠点ごとの事業実績

N o	福祉推進会・サロン名	実施 回数	主なサロンの内容	延参加 人数
1	妻第 4・5 区福祉推進会 （百歳体操）	12	百歳体操・昼食会・お茶会・交流会・外出交流・健康確認等	199
2	妻第 7 区福祉推進会 （稚児が池サロン会）	9	出前講座・勉強会・お茶会・小物作り・ビデオ鑑賞・百歳体操等	109
3	妻第 8 区福祉推進会 （8 区いきいきサロン）	12	百歳体操・公民館清掃・花壇の手入れ・敬老会・外出交流 等	175
4	妻第 9 区福祉推進会 （桜川会）	12	ゲーム・脳トレ・百歳体操・調理実習・勉強会・外出交流 等	181
5	妻第 10 区福祉推進会 （いきいきはまんこサロン）	12	百歳体操・講習会・創作活動・外出交流・昼食会 等	105
6	妻第 13 区福祉推進会 （妻サロン会）	12	百歳体操・おしゃべり・情報交換・外出交流 等	248
7	妻第 14 区福祉推進会 （14 区いきいきサロン）	12	百歳体操・講習会・創作活動・外出交流・昼食会 等	90
8	妻第 18 区福祉推進会 （こすもす月曜会）	12	おしゃべり・ゲーム・外出交流・健康体操・百歳体操等	164
9	妻第 20・21 区福祉推進会 （みぎまつサロン（右松町））	12	おしゃべり・交流会・百歳体操・情報交換等	75
10	妻第 20・21 区福祉推進会 （みぎまつサロン（右松村））	12	おしゃべり・交流会・百歳体操・情報交換等	104
11	妻第 26 区福祉推進会 （日吉クラブ）	12	おしゃべり・交流会・情報交換・調理実習・神社清掃 等	76
12	妻第 27 区福祉推進会 （大口川サロン）	12	脳トレ・歌・軽体操・ストレッチ・百歳体操・講習会・小物作り 等	123

13	妻第 29 区福祉推進会 (いきいきサロン)	12	交流会・出前講座・勉強会・社会 見学・百歳体操 等	213
14	妻第 30 区福祉推進会 (童子丸ふれあいサロン)	12	勉強会・昼食会・柔軟体操・百歳 体操・外出交流 等	211
15	穂北第 2 区福祉推進会 (坂江一日会)	12	公民館清掃・植木剪定・出前講 座・講習会・情報交換・外出交流 等	211
16	穂北第 3 区福祉推進会 (島内村なごみ会)	11	筋トレ・体操・情報交換・創作活 動・外出交流 等	86
17	穂北第 10 区福祉推進会 (囲ふれあいクラブ)	12	出前講座・講習会・昼食会・情報 交換・百歳体操 等	143
18	三納第 1 区福祉推進会 (松本ふれあいサロン)	9	介護予防体操・ゲーム・交流会・ 情報交換・出前講座・講習会 等	71
19	三納第 2 区福祉推進会 (おしゃべりサロン札の元)	12	軽体操・おしゃべり・歌・音楽鑑 賞・情報交換・講習会 等	123
20	三納第 3 区福祉推進会 (かんのん ふれあいサロン)	9	おしゃべり・交流会・ゲーム・ 歌・介護予防体操・講習会 等	123
21	三納第 4 区福祉推進会 (いきいきサロン「緑茶の会」)	10	おしゃべり・歌・情報交換・花見 会・外出交流・出前講座・講習会 等	122
22	三納第 5 区福祉推進会 (三納山桜)	8	おしゃべり・情報交換・昼食会・ 外出交流 等	232
23	三納第 6 区福祉推進会 (竹の内いきいきサロン)	7	講習会・交流会・小物作り・創作 活動・おしゃべり・情報交換 等	74
24	三納第 7 区福祉推進会 (はつらつおしゃべりサロン)	12	ゲーム・出前講座・講習会・百歳 体操・外出交流・情報交換 等	276
25	都於郡第 1 区福祉推進会 (マンショ)	11	ゲーム・脳トレ・軽体操・百歳体 操・交流会・歌・情報交換 等	113
26	都於郡第 2 区福祉推進会 (げんきか〜い)	12	健康体操・脳トレ・外出交流・講 習会・昼食会・情報交換 等	160
27	都於郡第 3 区福祉推進会 (ふれあいサロン中村)	12	軽体操・交流会・出前講座・講習 会・ゲーム・情報交換 等	213
28	都於郡第 3 区福祉推進会 (坂ノ下いきいきサロン)	12	お茶会・おしゃべり・外出交流・ 講習会・百歳体操・歌 等	103
29	都於郡第 3 区福祉推進会 (青山サロン)	9	おしゃべり・歌・ゲーム・百歳体 操・外出交流・講習会 等	144
30	都於郡第 4 区福祉推進会 (いってみろ会)	11	交流会・体操・脳活・ゲーム・講 習会・外出交流 等	119
31	都於郡第 4 区福祉推進会 (満潮会)	11	交流会・健康体操・花見会・ゲー ム・講習会・おしゃべり・情報交	130

			換等	
32	都於郡第4区福祉推進会 (満月会)	12	おしゃべり・情報交換・ゲーム・健康体操・百歳体操・歌・外出交流等	165
33	都於郡第5区福祉推進会 (5区ふれあい・いきいきサロン)	12	交流会・出前講座・講習会・ゲーム・歌・昼食会等	271
34	都於郡第6区福祉推進会 (八木佐野元気会)	12	おしゃべり・情報交換・ゲーム・交流会等	78
35	都於郡第8区福祉推進会 (下沖なのはな会)	12	おしゃべり・お茶会・講習会・百歳体操・脳トレ・外出交流等	141
36	三財第1区福祉推進会 (サロン藤田)	12	交流会・おしゃべり・情報交換・外出交流・百歳体操等	130
37	三財第2区福祉推進会 (わちどんの集い)	11	おしゃべり・情報交換・出前講座・講習会・外出交流等	166
38	三財第3区福祉推進会 (芽ばえ)	4	ゲーム・情報交換・出前講座・講習会・外出交流・昼食会等	122
39	三財第5区福祉推進会 (岩合会)	11	軽体操・ゲーム・脳トレ・小物作り・情報交換・交流会等	163
40	三財第5区福祉推進会 (2525小野サロン会)	12	ゲーム・軽体操・情報交換会・外出交流・昼食会等	221
41	東米良第1区福祉推進会推進会 (きまぐれサロン)	11	おしゃべり・交流会・近況報告・軽体操等	69
	延べ実施回数合計	454回	延べ参加人数合計	6,042名

## (2) みんなのデイサービス事業

介護保険の要介護認定において、非該当又は非該当の可能性が高い高齢者等を対象に、中学校エリアで、介護予防のための機能訓練等を実施する住民主体型のデイサービス事業として行った。

事業を通じて、高齢者等が地域において自立した日常生活を営むことができるよう一般介護予防・生活支援の観点から支援することを目的に実施した。

また、民生委員児童委員や関係機関との連携を図りながら、広報周知も図った。

地区名	実施回数	延べ利用者数	延べ協力者数
妻	20回	288名	61名
穂北	12回	36名	29名
三納	22回	244名	72名
都於郡	23回	257名	61名
三財	22回	224名	51名
東米良	9回	27名	17名
合計	108回	1,076名	291名

### (3) ボランティアセンター事業

ボランティア活動に関する相談・支援をはじめ、ボランティアや地域福祉活動に関する情報提供・講座・体験等を実施するとともに、地域住民や関係機関と協働し、災害ボランティアセンターに関する訓練や研修も実施した。

また、ボランティア活動の輪を広げる取り組みや、活動中の事故などに備え、ボランティア活動保険の推奨・受付等も行った。

更に、ボランティア活動に関心を持ってもらうための情報発信・啓発として、本会ホームページによる取り組みの周知や、情報誌作成・配布を行った。

#### ア 登録団体・相談・支援実績

区 分	数 値
ボランティアセンター登録団体数	90 団体
ボランティアセンター登録者数	2,687 名
相 談 件 数	54 件
コ ー デ ィ ネ ー ト 件 数	40 件
ボランティア活動保険受付状況	1,372 名
ボランティア行事用保険受付状況	55 件

#### イ その他の講座・体験・会議等

区 分	回数	参加者数
小中学校（さいと学等）でのボランティア講話・各種体験講座等	32 回	390 名
宮崎医療福祉専門学校・看護学科2年生 地域福祉講座／フィールドワーク（障がい者生活介護事業所スマイル館・清水地区百歳体操・法元地区百歳体操・サロン会）／発表	8 回	130 名
県下一斉ボランティアの日「記紀の道周辺清掃活動」 （ボランティア連絡協議会との協働作業）	1 回	16 名
西都市ボランティア連絡協議会総会	1 回	64 名
西都市ボランティア連絡協議会役員会	10 回	89 名
西都市ボランティア連絡協議会 研修・意見交換会	3 回	94 名
西都市災害ボランティアセンター運営訓練	1 回	84 名
西都市災害ボランティアセンター マッチングシュミレーション研修会	1 回	34 名
情報発信の取り組み（ボランティアセンター情報誌）	1 回	1,000 部

#### ウ 災害ボランティアセンター強化機能

##### ア) 西都市災害ボランティアセンター運営訓練の実施

大規模災害が発生した際の対応方法や地域との連携、関係機関の協体制の確立について訓練・検討することにより、災害目線で「**ふ**だんの**く**らしの**し**あわせ」のために住

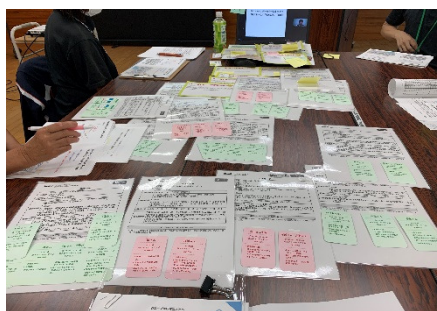


民や団体、組織が主体的に考え、行動できるようになる地域の災害対応力の向上を図り、感染症拡大禍における災害ボランティアセンター運営・対応方法を実践に基づき実施した。

会場	西都市総合福祉センター
期日	令和5年5月28日(日)
対象者	民生委員児童委員・ボランティア団体・宮崎医療福祉専門学校学生等
参加者数	84名



#### イ) 災害ボランティアセンター マッチングシミュレーション研修の実施



被災者のニーズとボランティアとのマッチングをシミュレーションすることで、災害ボランティアセンター運営でおこる課題とその解決策について検討しながら、災害時に必要な知識や判断力、考え方を身につけ、「被災者中心」「地元主体」「協働」の三原則に基づいた災害ボランティアセンターの在り方や運営について実施した。



会場	西都市総合福祉センター
期日	令和5年6月23日(金)
対象者	県内市町村社協職員 ボランティア団体等
参加者数	34名

#### (4) レクリエーション用具の貸し出し事業

小地域ネットワーク事業、ふれあい・いきいきサロン事業、ボランティアセンター事業等、地域住民が主体的に取り組む地域福祉活動に活用できるレクリエーション用具を整備し、無料で貸し出しを行い、住民主体の身近な地域福祉活動の充実を図った。

貸出用備品名	件数	貸出用備品名	件数
グラウンドゴルフセット	12件	ストライクナイン	8件
シャッフルゴルフセット	9件	玉入れ	2件
ゲートボール	1件	ソフトダーツ	5件
グラウンドゴルフ	1件	底抜けホールインワン	5件
ターゲットバードゴルフ	3件	たいこ相撲	2件
どこでもわなげ	4件	お手玉ボード	1件
さくらんぼの木輪投げ	3件	点鳥ルーレット	1件

輪投げ	11 件	白黒ゲーム	1 件
友遊ボーリング	3 件	リズム楽器セット	1 件
サンラッキーミニボーリング	2 件	カラオケ	5 件
室内用ペタンク	5 件	大型トランプ	3 件
バックコーゲーム	2 件	四字熟語合わせ	2 件
ポケネット	6 件	漢字博士	1 件
ラダーゲッター	1 件	合計	100 件

(5) 第1層生活支援コーディネーター業務（市全体の高齢者の生活支援・介護予防を推進）

第1層生活支援コーディネーターを配置し、高齢者の生活支援に係る住民主体の活動を支援し、地域づくりの推進を行った。併せて、地域の社会資源の把握や関係者のネットワーク作りを行い、地域における生活支援体制の整備に向けた取組みを推進した。

支援分野	具体的活動内容	件数
社会資源の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>○住民主体の地域活動の場や移動販売車・シルバー人材センター等の情報収集・把握をし、関連部署との情報共有を図った。また関係する協議の場にて、人財や場・活動等の把握をした。</li> <li>○住民歴書を活用し、地区内の人財の情報把握をし、通いの場運営や地域づくりのきっかけづくりになるよう、情報提供等に努めた。</li> </ul>	18 件
生活ニーズの把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地区の地域福祉活動に出向き、区長や民生委員児童委員・福祉協力委員・地区リーダー等に認知症のある方への関わりや移動手段等の個別・地域ニーズの情報収集をするとともに、制度やシステム・地域資源等の情報提供を図った。</li> <li>○自立支援型地域ケア会議の事例を通して、利用者や家族・担当ケアマネジャー等から挙げた地区ニーズを把握し、生活支援の手立てや方法等の検討を図った。</li> </ul>	40 件
ネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>○居宅介護等主任者会議や地域福祉活動の場（区福祉推進会やサロン・百歳体操等）に参加し、生活支援コーディネーターの活動周知やフレイル予防・健康等の出前講座を行い、意見交換や情報共有に努めた。</li> <li>○小中学校や専門学校と地区サロン等とのつながりや顔の見える関係づくりにつとめた。西都・児湯ブロック社協連絡協議会 地域福祉推進委員会を通して、西都・児湯管内の社協職員等とネットワーク構築や強化を図った。</li> </ul>	60 件
社会資源の開発及び担い手の養成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第1層圏域の支援地区（穂北11区茶臼原地区）や都於郡4区かなだ会の後方支援により住民主体の地域支え合いの仕組みづくりの継続、安心カード作成につなげた。サロンや百歳体操等の新規（都於郡8区下沖なのはなサロン・三財4区石野</li> </ul>	6 件

	田地区百歳体操及びサロン・妻 24 区岡富地区サロン) 立ち上げへの運営支援を行った。 ○みんなのデイサービスやサロンへ健康運動指導士の人財マッチング支援を行った。	
会議、打ち合わせ等への参加	○自立支援型地域ケア会議及び仕分け会議 ○区福祉推進会・サロン・百歳体操等の情報把握・提供・出前講座等 ○百歳体操の協力者研修会および各地区での体験会等 ○区福祉推進会・福祉協力委員等役員との情報交換及びニーズ把握等 ○地域支え合いの仕組みづくり継続および安心カード作成等後方支援 ○穂北 11 区(第 1 層圏域支援地区)支援 ○生活支援体制整備に関する打ち合わせ・協議等 ○西都・児湯ブロック社協連絡協議会 地域福祉推進委員会・研修会等 ○小中学校や専門学校・大学等への福祉教育の後方支援・人材育成等 ○健康運動指導士等の人財マッチング支援 ○居宅介護支援事業所等主任者会議 ○移動販売車・シルバー人材センター等関連団体等との情報共有等	17 件 23 件 6 件 11 件 5 件 3 件 6 件 6 件 16 件 2 件 1 件 6 件
生活支援体制整備事業に関する調査研究等	○研修会(生活支援コーディネーター業務関連)参加 ○他市町村生活支援コーディネーターやアドバイザー等との協議	2 件 4 件
合 計		232 件

(6) 市外からの視察・実習受け入れ及び職員派遣の取り組み

地域福祉活動実践者や本会職員が情報交換を行うことで、共に学び合い、更なる事業・活動の充実強化を図ることを目的に、視察研修の受け入れや職員を派遣した。

期日	研修名等	依頼者	内容
8月12日 ～16日	令和5年7月災害豪雨に伴う災害VCへの職員派遣	鹿児島県社会福祉協議会	被災地社協での災害VC運営活動
8月14日 ～9月15日	社会福祉援助技術現場実習 (1名受け入れ)	九州保健福祉大学	実習生受け入れ
1月16日	高原町ボランティア連絡協議会 視察研修受け入れ	高原町ボランティア連絡協議会	災害VCについて 意見交換会
2月19日 ～25日	能登半島地震の災害福祉専門職 チームへ派遣	宮崎県災害福祉支援 ネットワーク協議会	避難生活中の要配慮者 への福祉的支援



■ 高原町ボランティア連絡協議会視察研修受け入れの様子



■ 西都社協だより No.107 より抜粋

■ 西都包括だより 2024 春号より抜粋

**令和5年7月 九州北部豪雨  
災害ボランティアセンター職員派遣レポート**

生活支援課相談サポート係  
課長 吉田 佳孝

私は、8月12日から16日までの5日間、福岡県久留米市災害ボランティアセンターの運営支援に携わってきました。

久留米市では、線状降水帯による豪雨により内水氾濫や土石流が発生し、約3,700世帯が床上及び床下浸水の被害を受けました。発災から1か月後の派遣でしたが、土石流発生地区には未だショベルカー等の重機も入っている状況でした。派遣期間中は、熱中症アラートが連日発令される猛暑でしたが、毎日120名を超える方がボランティア活動に参加されていました。ボランティア参加者の中には、連日参加している方や、初めて参加する方、また外国籍の方など様々でした。

印象に残っているのは、初めてボランティアに参加された方が、出発の時は不安そうな表情をしていたのに、作業を終えて帰ってきた時には、明るい表情で、その日一緒に活動した仲間たちと頑張りましたね。また会いましょうね。」と話をされていたことです。

被災世帯の支援が災害ボランティアセンターの役割ではありますが、ボランティア参加者に明るい気持ちで帰っていただくことが次のボランティアにも繋がる重要な事だと感じました。

また、派遣人数の調整や作業内容にマッチした資機材の貸し出しなど、効率の良いセンター運営には、被災世帯が望む作業内容（ニーズ）を正確に把握することが不可欠であることを学びました。

今回の災害ボランティアセンター派遣で得た、気づきや学びを糧とし、これからの業務に励んでまいります。

問い合わせ先 **西都市ボランティアセンター** ☎43-3160

**災害福祉専門職チーム(DWAT)派遣活動報告**

令和6年1月1日に発生した「能登半島地震」の災害福祉専門職チーム(DWAT)派遣活動に、西都市南地区地域包括支援センターの中川が参加しました。

令和6年2月19日～2月25日まで、石川県庁、鳳珠郡(ほろすぐん)穴水町などで、避難生活中の要配慮者への福祉の支援の活動を行いました。現地では、医療チーム等様々な専門職団体が活動しており、宮崎DWATとしては今回が初めての活動となります。

被災から1か月半が経過していましたが、まだまだインフラ整備が進んでおらず、生活支援が必要な状況が続いており、地域が自立した生活に戻るためには、時間がかかるものと予想されます。今後も被災地への応援や日頃の災害に対する意識を高めておく活動を続けていきたいと思っております。

**●DWAT (ディーワット) とは?**

災害時における、長期避難者の生活機能の低下や要介護度の重症化など二次被害防止のため、一般避難所で災害時要配慮者(高齢者や障がい者、子ども等)に対する福祉支援を行う民間の福祉専門職で構成するチームです。

愛称: マンゴー-DWAT  
活動信条  
Do no harm  
受援創主体 Host centered  
調整する Coordination  
協賛する Collaboration  
学習する Continuous learning

みやざき DWAT

災害対策基本法により、災害時に1人では避難ができない方や支援が必要な方の名簿作成が自治体に義務づけられています。地域包括支援センターでは、西都市(福祉事務所等)や民生委員児童委員、ケアマネジャーと連携し、「災害時避難行動要支援者」の名簿の整備や情報の共有化を毎年行なっています。平時から顔の見える関係づくりを行ない有事に備える取組を行っています。

3 福祉サービス利用支援事業 (生活支援課 相談サポート係)

毎日の生活の中での困りごとに対して、相談者の立場に立った支援を心がけ、一つひとつの相談を丁寧に受け止め、相談者とともに解決に向けた支援を行った。

さらに、相談内容も複雑化してきているため、関係機関や他業種とのネットワークを構築し、連携してより専門的に支援を行うため、以下の事業を実施した。

(1) ふれあい総合相談センター事業 (常設相談: 243日)

常勤職員(1名)を配置し、総合相談窓口として多様な相談に応じ、関係機関と連携しながら解決に向けて支援を行った。また、弁護士による無料法律相談(毎月第3火曜日)を実施し、



法的な解決に向けた支援にも努めた。

さらに、近年、生活困窮に関する相談も多くなり、社会福祉法人と協働で支援を行う、みやぎ安心セーフティネット事業（生活困窮者に対する相談支援実施件数：3件）の取り組みも行った。

相談内容	件数
健康問題	0件
経済生活問題	199件
家庭問題	2件
勤務・労働問題	0件
男女問題	0件
学校問題	0件
その他（法律相談含む）	46件
小計	247件
福祉用具貸与	321件
合計	568件

## （2）資金貸付事業

### ア たすけあい資金貸付金

低所得者の市民が緊急かつ臨時的な出費を必要とする際に、民生委員の助言・支援を受けながら自立を支援するため、市民からの相談をもとに貸付を行う事業であるが、相談はあったものの貸付には至らなかった。（相談件数：29件）

### イ 生活福祉資金貸付金

宮崎県社会福祉協議会から委託を受け、低所得者、障がい者及び高齢者に対し、その経済的自立、生活意欲の助長促進、在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにするため、資金の貸付と必要な支援を行う窓口業務を行った。相談はあったものの貸付には至らなかった。（相談件数：29件）

## （3）成年後見支援センター事業

西都市成年後見制度利用促進基本計画に基づき、認知症や障がいがあっても自分らしく住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、成年後見制度に関する相談に対応した。また、成年後見制度に関する広報活動を行った。

内容	件数
相談及び利用支援	27件
受任者調整	1件
申立支援	1件
出前講座	5件

#### (4) 法人後見事業

認知症・知的障がい・精神障がい等によって物事を判断する能力が不十分な方に対し、本会が、法人として成年後見人等になり、その方の判断能力を補い、安心して日常生活ができるよう専門員2名支援員1名（兼務）を配置して支援を行った。

#### ア 受任件数（令和6年3月31日）

類 型	受任件数
後見類型	7件
保佐類型	9件
補助類型	6件
合 計	22件

#### イ 受任検討委員会

開 催 日	検討件数	備 考
令和5年4月13日（木）	1件	市長申立1件（書面開催）
令和5年5月31日（水）	1件	市長申立1件（書面開催）
令和5年8月4日（金）	3件	市長申立3件
令和5年11月28日（火）	1件	市長申立1件（書面開催）
令和6年1月25日（木）	2件	市長申立2件

#### ウ 研修会等への参加（人材育成）

研 修 名	参加人数
法人後見専門員研修（県社会福祉協議会主催）	3名
成年後見シンポジウム（リーガルサポート主催）	1名

#### (5) 日常生活自立支援事業

宮崎県社会福祉協議会から委託を受け、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などのうち判断能力が不十分な方が、地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約にもとづき、専門員2名と生活支援員3名で支援を行った。

また、判断能力のさらに低下した利用者に関しては、成年後見制度への移行支援を行い、利用者の状態に応じた適切な支援が行えるよう取り組んだ。

#### ア 相談及び問い合わせ件数

相談者区分	件 数
認知症高齢者等	16件
知的障がい者等	5件
精神障がい者等	7件
そ の 他	0件
合 計	28件

イ 契約者数（令和6年3月31日現在）

契約者区分	契約者数
認知症高齢者等	11名
知的障がい者等	14名
精神障がい者等	7名
合 計	32名

(6) 社会福祉法人協働型地域貢献支援事業及び西都市社会福祉法人連絡会

社会福祉法人の地域公益的な取り組みをさらに発展させるために、西都市内に事業所を置く社会福祉法人と連携・協働し、西都市社会福祉法人連絡会として活動を行った。（本会を含む14法人が参加）

事業内容	提供数等	備 考
フードバンク事業	1,765食（41世帯）	生活困窮に関する相談数が多いことから提供食数も依然として多い状況である。 令和4年度実績1,707食（39世帯）
お米宅配便事業	5世帯	申し出があった世帯に対して、米の宅配を行った。（5世帯145キログラム）
すっきりクリーン事業	2回	9法人が参加し、家屋内の片付けを実施した。令和4年度実績2回

(7) 歳末たすけあい募金助成事業

「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに、全国展開された「歳末たすけあい募金運動」の助成を受け、民生委員児童委員協議会等の協力を得て、以下の事業を実施した。

事業名	事業内容	配付対象者数	
歳末ほっと宅配便事業	80歳以上の支援が必要な高齢者等を対象に、民生委員児童委員や福祉協力委員が品物をお届けした	妻	421名
		穂北	122名
		三納	124名
		都於郡	88名
		三財	144名
		東米良	36名
		合 計	935名
見守り活動事業	上記の対象には当てはまらないが、日々の見守り活動が必要な方に配布できる品物を準備し、民生委員児童委員が見守り活動を行った	全地区	1,010名

(8) 他団体の事務局併任及び関係機関・団体等との連携・協働

民生委員児童委員協議会・高齢者クラブ連合会の事務局を併任し、各団体の事業推進や構成員への支援はもちろんのこと、本会が推進する事業とも連携を図りながら、共に地域福祉を推進する担い手として、活動の方向性や意識を共有し合いながら事業展開を図った。

#### 4 在宅福祉事業（在宅福祉課 訪問介護係）

高齢者や障がいのある方が、地域で暮らし続けるために、介護サービスなどの多様なサービスを提供するため、以下の事業を実施した。

(1) 介護度別利用者数

項目	要支援認定・日常生活支援総合事業対象者
訪問型サービス	5名
給付管理	3名
合計	8名

項目	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
訪問介護	4名	7名	1名	2名	0名	14名
給付管理	11名	5名	6名	5名	2名	29名
合計	15名	12名	7名	7名	2名	43名

(2) 訪問介護事業

ホームヘルパーが、介護支援専門員からの「居宅サービス計画」に基づいて、高齢者宅等で、家事援助等のサービスを提供しました。

また、様々な制度の知識や介護技術の習得に努め、利用者の実態に応じたサービスが提供できるように、サービス利用者や家族との信頼関係を深めることに努めた。

ア 訪問介護事業（要介護認定者）

実利用者数	訪問回数	訪問時間
22名	2,365回	2,245.75時間

イ 訪問型サービス事業（要支援認定・総合事業対象者）

実利用者数	訪問回数	訪問時間
10名	611回	606.25時間

(3) 居宅介護支援事業

一人ひとりの利用者が、住み慣れた地域で安心して自分らしい生活を実現できるよう、セルフケアの啓発などにも取り組みながら、地域共生社会に対応できるように様々な制度を活用し計画作成と相談援助を行った。（令和5年度をもって休止）

実利用者数	延べ利用者数
43名（予防 3名含）	327名（予防 3名含）

#### (4) 障害者総合支援等事業

障害者総合支援法に基づき、障がいのある利用者が居宅において自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、ヘルパーを派遣し支援を行った。

	実利用者数	派遣回数	延べ派遣時間
居 宅	15名	3,306回	3,343時間
同 行	1名	37回	84時間
移 動	4名	170回	320.5時間
合 計	20名	3,513回	3,747.5時間

#### (5) 障がい者生活サポートセンター「なごみ」（一般相談支援事業・特定相談支援事業）

障がいのある方が、自立した日常生活や社会生活を営むことができるように、ご本人やご家族、介助者の方などからの相談に応じ、必要な情報の提供や、権利擁護のために必要な援助を行った。

また、各サービス事業所ときめ細かな情報交換を行い、関係機関との連携・協働に努めた。

#### ア 相談件数

	身体	重症心身	知的	精神	発達	高次脳	難病	その他	合計
障がい者	93件	0件	103件	0件	85件	0件	11件	0件	292件
障がい児	261件	6件	303件	485件	28件	61件	60件	0件	1,204件
合計	354件	6件	406件	485件	113件	61件	71件	0件	1,496件

#### イ 支援方法

	訪問	来所	同行	電話 相談	電子 メール	個別 支援 会議	関係 機関	その他	計
障がい児	65件	0件	11件	187件	10件	9件	19件	3件	304件
障がい者	223件	8件	22件	691件	53件	4件	55件	8件	1,064件
合計	288件	8件	33件	878件	63件	13件	74件	11件	1,368件

※複数の障害を持たれていることが多く、相談件数と支援方法の合計件数に違いがあります。

#### ウ 支援内容

内 容	障がい児	障がい者	合計
福祉サービスの利用等に関する支援	188件	502件	690件
障がいや病状の理解に関する支援	8件	3件	11件
健康・医療に関する支援	11件	146件	157件
不安の解消・情緒安定に関する支援	28件	223件	251件

保育・教育に関する支援	25件	1件	26件
家族関係・人間関係に関する支援	12件	25件	37件
家計・経済に関する支援	0件	15件	15件
生活技術に関する支援	0件	20件	20件
就労に関する支援	0件	3件	3件
社会参加・余暇活動に関する支援	0件	0件	0件
権利擁護に関する支援	0件	5件	5件
住宅入居等に関する支援	0件	5件	5件
その他	32件	116件	148件
合 計	304件	1,064件	1,368件

## エ 計画作成実績

内 容	件 数
障がい者	40名
障がい児	89名
合 計	129名

## 5 地域包括支援センター事業(地域包括支援センター)

高齢者の心身の健康保持、保健、医療の向上、生活の安定のために必要な援助を行うとともに、地域の高齢者の生活を包括的に支援することができるよう、「地域包括ケアシステム」構築のための体制づくりを図り、地域包括支援事業を一体的に実施する中核的機関として、以下の事業を行った。

### (1) 総合相談支援業務

高齢者が、住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続することができるように、ニーズを把握し、地域における適切な資源やサービス、関係機関・制度の利用に繋げるなどの支援を行った。また、自立支援に向けた自助、互助の視点を持ち、悪化予防の支援ができる包括的・継続的な生活の継続が図れるよう支援した。

### ア 総合相談窓口業務

地域の高齢者の総合相談窓口として、地域住民の相談に応じ、各関係機関と連携を取りながら必要な支援を行った。

日常生活支援総合事業の短期集中予防サービスや、一般介護予防事業(みんなのデイサービスや地域の通いの場)など本人のニーズの応じ支援を行った。

	相 談 区 分	件 数
総合相談	介護予防に関すること	603件
	事業対象者に関すること	599件
	福祉用具に関すること	150件
	住宅改修に関すること	115件

	介護に関すること	207 件
	福祉サービスに関すること	353 件
	介護保険に関すること	663 件
	インフォーマルサービスに関すること	239 件
	福祉施設に関すること	100 件
	医療機関に関すること	374 件
	安心・安全に関すること	171 件
	障害に関すること	22 件
	行方不明に関すること	11 件
権利擁護相談	日自・成年後見に関すること	28 件
	消費者被害に関すること	3 件
	高齢者虐待に関すること	42 件
	困難事例に関すること	158 件
	認知症高齢者に関すること	310 件
	精神疾患に関すること	44 件
包括的継続的 マネジメント 等	関係機関からの相談に関すること	5 件
	ケママネジャー後方支援に関すること	7 件
	苦情に関すること	5 件
	経済に関すること	26 件
実態把握	サービス未利用者	18 件
	訪問、その他の相談	480 件
	上記以外の事項	81 件
	合 計	4,814 件

※白=総合相談 青=権利擁護 オレンジ=包括的継続的支援 ピンク=実態把握

## イ 実態把握業務

地域住民や各関係機関からの情報提供により、地域の高齢者の心身の状況や家庭環境等について実態把握を行うことで、生活状況の悪化や要介護状態にならないための予防的対応や未然防止的な対応さらに、ニーズの主訴の解決に向けた支援に努めた。

件 数
491 件(延件数)

### (2) 権利擁護相談業務

判断力の困難な状況にある高齢者が、地域において尊厳のある生活を維持しつつ、安心して生活を行うことができるよう、専門的・継続的な視点から支援を行った。

虐待については、福祉事務所の虐待認定されたもののみを件数に計上することとしているが、虐待疑いの件数は継続してみられている。相談件数は家族の課題や経済的な課題等複合的な課題を有した相談が増加傾向にある。成年後見制度利用については、西都市成年後見支援センター等、関係機関と連携して対応を行ってきた。

相 談 内 容	件 数
身体的虐待について	11 件
経済的虐待について	5 件
精神的虐待について	8 件
性的虐待について	0 件
介護放棄について	0 件
※日自成年後見制度利用について	14 件
消費者被害について	2 件
困難事例について	64 件
認知症に関すること	148 件
精神疾患に関すること	19 件
合 計	271 件

※「日自」とは日常生活自立支援事業

### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

介護支援専門員（ケアマネジャー）の日常的業務相談の対応、支援困難事例などへの指導・助言等の支援を行った。

さらに、効果的な地域支援及び地域連携の構築の視点として専門職（保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員）が関係機関や地域住民との情報共有の機会を持ち、専門職としての能力を活かしたチーム支援に努めた。

内 容	件 数
ケアマネジメント支援対応件数	0 件
地域連携会議	46 件
多職種連携に係る会議	8 件
ケアマネジメント支援に係る会議	21 件
その他	11 件
合 計	86 件

会議又は事業名	内容等
自立支援型地域ケア会議	<p>【目的】高齢者の QOL の向上、要介護認定者の減少及び重度化予防、介護保険料の上昇抑制等を目的に西都市主催で開催</p> <p>【内容】包括支援センター職員及び居宅介護支援事業所の立案した介護予防プランに対して、自立を阻害する原因の追究と課題の整理、インフォーマルサービスの活用、医療介護の連携、地域課題の発見・解決策の検討、参加者の OJT 効果が得られるよう専門職からのアドバイスを受ける。</p> <p>【回数】20 回 内事例提出 10 回</p>



<p>地域課題の仕分け会議</p>	<p>【目的】 自立支援型中央地域ケア会議で抽出された地域課題に対しての解決に向けての協議</p> <p>【内容】 行政、生活支援コーディネーター、包括支援センター職員による提出事例に対して地域課題を抽出し、解決に至るための検討を行う。</p> <p>【回数】 20 回</p>
<p>キュア・ケアネットワーク研修会</p>	<p>【目的】 地域の医療・介護の実務者の顔の見える関係づくりと共通知識力の向上を行い課題解決が早期にできるよう実施</p> <p>【内容】</p> <p>□令和 5 年 12 月 15 日（金）</p> <p>演題 認知症について ～認知症当事者と家族を支えるために専門職がもめられること</p> <p>講師 社会医療法人慶明会 けいめい記念病院 副院長 岡原 一徳 氏</p> <p>方法 集合型開催 87 名参加</p>
<p>権利擁護研修会</p>	<p>【目的】 高齢者虐待について基本法律を学ぶとともに支援者として判断に迷う場面での法的根拠に基づいた対応を協議して学ぶ。</p> <p>【内容】</p> <p>□令和 5 年 9 月 22 日(金)</p> <p>□高齢者・障がい者の相談実務に従事する者、介護保険施設、医療機関の社会福祉士、行政職対象の研修会を実施</p> <p>□弁護士 青木大樹 氏 から法制度について 社会福祉士 合田明美 氏から支援現場の対応について講義研修</p> <p>47 名参加</p>
<p>西都市避難行動要支援者情報共有会議</p>	<p>【目的】</p> <p>① 市の登録者情報をもとに地域住民と支援者との情報共有</p> <p>② 個別の見守り体制など支援力の強化</p> <p>【内容】</p> <p>□民生委員児童委員協議会 6 月定例会に於いて実施</p> <p>□市(福祉事務所)が登録する「避難行動要支援者」について民生委員児童委員、居宅介護支援事業所、包括支援センターと情報共有を図り、最新の情報を更新する機会を設けた。</p>

介護予防ケアマネジメント研修	<b>【目的】</b> 適切なケアマネジメントの手法を学ぶ <b>【内容】</b> 講師 地域密着型特別養護老人ホーム わかば 施設長 大峯 伸一 氏
2 包括カンファレンス	<b>【目的】</b> 北・南両地域包括支援センター間での地域支援事業の内容充実と共有化を行った。 <b>【内容】</b> 包括支援センター職員による情報交換、意見交換会議 6 回開催（状況に応じ Web と集合にて開催）

#### (4) 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務

高齢者の心身の状況とそれを取り巻く環境などを勘案し、自立支援に向けて、利用者の主体的な活動と参加意欲の促進を図りながら介護予防の支援に努めた。自立支援に向けた介護予防ケアマネジメントとして、地域支援事業の中のサービスに位置づけられている通所型サービス、訪問型サービス利用のマネジメントを行った。

支援件数	件 数
介護予防支援	595 件(内、初回 27 件)
地域包括支援センター	316 件(内、初回 19 件)
居宅介護支援事業所(委託)	279 件(内、初回 8 件)
介護予防ケアマネジメント	756 件(内、初回 27 件)
地域包括支援センター	584 件(内、初回 19 件)
居宅介護支援事業所(委託)	172 件(内、初回 8 件)
居宅介護支援事業所実務者会議	2 回(主任者会議)出席

#### (5) 地域包括ケアシステム構築推進に向けた取り組み

地域支援事業として新たに体制づくりの強化が重要となっていることから、実施主体である西都市健康管理課地域包括ケア推進係と共に、地域包括支援センターが事務局となり「生活支援の基盤整備」、「認知症施策の推進」の取り組みに努めた。

#### ア 生活支援体制整備事業

(ア) 目的 地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み

(イ) 内容 高齢者移動手段困難事例検討 地域支えあい仕組みづくりモデル事業報告

(ウ) 委員 地域づくり協議会・民生委員児童委員協議会・特別養護老人ホーム・NPO 法人  
さいと旗たて会・西都市商工会議所・三和交通株式会社・西都市中央在宅介護支援センター・西都市社会福祉協議会

(エ) 回数 1 回

## イ 認知症施策推進会議

(ア) 目的 認知症高齢者支援の体制づくり

(イ) 内容 認知症初期集中支援チーム事業報告

認知症 SOS ネットワーク事業報告

(ウ) 委員 認知症サポーター医師・グループホーム管理者・病院連携室・介護支援専門員・福祉事業従事者・認知症高齢者家族関係者・西都市社会福祉協議会

(エ) 回数 3回

(6) 第2層生活支援コーディネーター業務（西都市南地区地域包括支援センターエリア）

高齢者の生活支援、介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援等サービスの提供体制の構築に向けた調整を行うため、第2層生活支援コーディネーターを配置し事業を実施した。

分類	内容	件数
1. 資源の把握に関すること	社会資源の把握	54 件
2. 生活ニーズの把握について	個別ニーズの把握	5 件
	地域ニーズの把握	45 件
3. 資源の開発に関すること	三財4区百歳体操	1 件
4. ネットワークの構築に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係機関とのネットワークづくり～宮崎医療福祉専門学校、民児協、居宅介護支援事業所、介護保険サービス施設、区長、公民館、NPO法人ハートム、三財4区福祉推進会、福祉事務所、宮崎市月見ヶ丘北自治区、とくし丸、妻25区黒生野地区、妻1区清水地区、障がい者（児）基幹相談支援センター、西都消防署、妻26区現王島地区、三納4区、竹園公民館、岡富公民館</li> <li>・ パンフレット配布拠点の確立と関係機関とのネットワークづくり</li> <li>・ サロン等地域活動の便りの作成およびHP掲載、配布</li> <li>・ 居宅介護支援事業所等主任者会議での情報提供</li> <li>・ いきいき百歳体操協力員研修会</li> <li>・ 宮崎医療福祉専門学校実習生に対する講義</li> <li>・ 生活支援体制整備事業に関する協議</li> </ul>	64 件
5. 会議・研修の参加、地域活動の訪問 等	会議	26 件
	研修	5 件
	地域活動訪問 等	72 件

(7) 認知症地域支援推進受託事業

認知症の症状に応じ、日常生活において必要な医療・介護及び生活支援を行うサービス機関が有機的に連携したネットワークを形成し、認知症の人への支援の構築を行うとともに、認知症ケアの向上を図るための取り組みを推進するため、認知症地域支援推進員を配置し認知症施策推進を行った。

分類	内容	回数	人数
1. 普及啓発・本人発信支援	認知症サポーター養成講座	10	317
	認知症サポーター養成講座勸奨	11	34
	キャラバンメイト意見交換会	2	17
	認知症フォーラム	1	360
	世界アルツハイマー月間における広報	3	0
2. 予防	出前講座	5	115
	介護予防いきいき百歳体操	34	437
3. 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援	グループホーム運営推進会議	5	
	居宅介護支援事業所との連携に係る会議	2	
	オレンジカフェ	12	224
	男性介護者カフェ	5	39
	認知症初期集中支援チーム員会議	0	
	認知症初期集中支援チーム支援ケース協議検討会	0	
	認知症初期集中支援チーム同伴訪問	実 0人	延 0人
	免許証自主返納高齢者訪問・電話	実 52人	延 71人
	相談・実態把握	実 56人	延 145人
4. 認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援	民生児童委員協議会理事会・各地区定例会	5	
	認知症SOSネットワーク登録呼びかけ(個別)	実 17人	延 17人
	認知症SOSネットワーク登録呼びかけ(集団)	9回	161人
	認知症SOSネットワーク事前登録	実 1人	延 1人
	チームオレンジへの参加・相談人数	1回	11人
	ヘルプカードの紹介	12回	159人
	ヘルプカードの作成支援	実 2人	延 2人
5. その他	研修会名：認知症地域支援推進員研修、キュアケアネットワーク研修会、西都市権利擁護研修会等	5	
	会議名：認知症施策担当者打ち合わせ、西都警察署との打ち合わせ、支援困難ケース地域ケア会議、テレビ番組「KAIGOへGO」打ち合わせ等	29	
	認知症施策推進会議	3	
	認知症施策推進会議打ち合わせ	5	
	その他：三財病院もの忘れ外来受診後のフォロー、関係機関とのネットワークづくり、絵画鑑賞会&交流会等	21	

(8) 各種実習生の受け入れ

宮崎医療福祉専門学校 20名 九州保健福祉大学 1名 計 21名

令和5年度 社会福祉法人西都市社会福祉協議会事務局組織図

【令和6年3月31日現在】

理事	9名
監事	2名
評議員	14名

